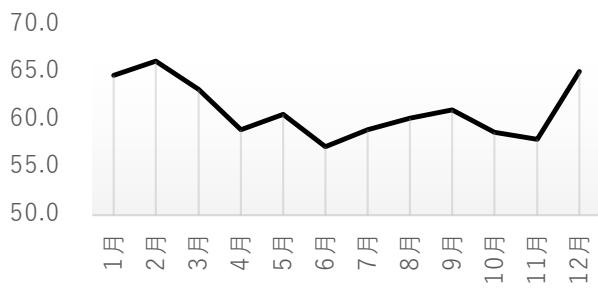


# 聖隸浜松病院

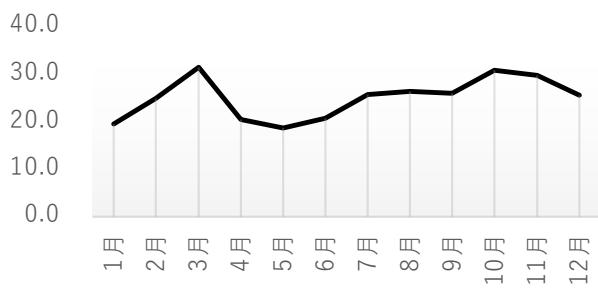
病床数 750 床  
 常勤医師数 7 名  
 指導医数 2 名  
 非常勤医師数 0 名  
 外来コメディカル 10 名

診療実績			
	外来	入院	
	1日当たり 外来患者数	入院日数	1日当たり 入院患者数
1月	64.7	6.9	19.5
2月	66.2	7.2	25.0
3月	63.2	7.7	31.5
4月	59.0	7.5	20.5
5月	60.6	6.9	18.7
6月	57.2	6.2	20.7
7月	59.0	6.3	25.7
8月	60.2	6.6	26.4
9月	61.1	7.9	26.0
10月	58.7	8.3	30.9
11月	58.0	10.2	29.8
12月	65.1	6.9	25.6
年間平均	61	7	25.0

1日当たり 外来患者数



1日当たり 入院患者数



全身麻酔症例数 678 例

<b>耳科手術</b>	<b>133 件</b>
鼓室形成術	1 件
慢性中耳炎	0 件
真珠腫性中耳炎	1 件
鼓膜チューブ挿入術	49 件
人工内耳手術	0 件
アブミ骨手術	0 件
顔面神経減荷術	0 件
先天性耳瘻管摘出術	20 件
外耳道形成術	0 件
鼓膜形成術	0 件
乳突削開術	0 件
試験的鼓室開放術	0 件
中耳根本術	0 件
内リンパ囊開放術	0 件
聴神経腫瘍摘出術	0 件
鼓膜切開術	63 件
<b>鼻科手術</b>	<b>439 件</b>
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	151 件
鼻中隔矯正術	103 件
鼻甲介切除手術	146 件
視神経管開放術	0 件
涙嚢・鼻涙管手術	2 件
眼窩吹き抜け骨折手術	0 件
顎・顔面骨折整復術	27 件
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術	8 件
鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術	2 件
<b>口腔咽喉頭手術</b>	<b>557 件</b>
扁桃摘出術	334 件
アデノイド切除	115 件
舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術	60 件
口蓋垂・軟口蓋形成術	2 件
舌・口腔良性腫瘍摘出術	12 件
舌・口腔悪性腫瘍摘出術	22 件
咽頭良性腫瘍摘出術	3 件
咽頭悪性腫瘍摘出術	21 件
喉頭微細手術	17 件
嚥下・誤嚥防止、音声改善手術	30 件
嚥下機能改善	4 件
誤嚥防止	5 件
音声機能改善	21 件
(うち声帯ポリープ切除)	17 件
喉頭形成術	1 件
喉頭截開術	0 件
<b>頭頸部手術</b>	<b>223 件</b>
頸部郭清術	63 件
頸下腺	良性腫瘍 10 件 悪性腫瘍 0 件
耳下腺	良性腫瘍 25 件 悪性腫瘍 9 件
甲状腺	良性腫瘍 25 件 Basedow病手術 6 件 悪性腫瘍 23 件
喉頭	良性腫瘍 25 件 恶性腫瘍 13 件
リンパ節生検術	28 件
頸部嚢胞摘出術	16 件
頸下腺摘出術	5 件
食道異物摘出術	0 件
気管異物摘出術	0 件
異物摘出術 (外耳・鼻腔・咽頭)	33 件
気管切開術	49 件
上皮小体過形成手術	3 件
深頭部膿瘍切開術	1 件
副耳切除	0 件
舌小帯延長術	2 件
唾石摘出術 (経口法)	11 件
下口唇囊胞摘出	9 件
舌下腺摘出	2 件



## 近況・病院アピール

2024年は頭頸部手術、鼻内内視鏡手術、扁摘などの口腔咽頭手術を中心に731件（全麻678件）の手術を行うことができました。また、2022年より開始した土日祝日を利用した入院夜間PSG検査も順調で病院のベッド稼働率上昇に貢献できるようになり、年間入院患者さんが1000名を超えております。ご紹介いただいた同門の先生方には感謝申し上げます。

2025年4月に千野帆夏先生と馬越優征先生が大学へ異動され、かわりに初期研修医を終えた濱野一太先生と、中東遠総合医療センターの中嶋海帆子先生が赴任されました。2025年度は岡村純、森泰樹、松下安理華、渡邊尚喜、中嶋海帆子、濱野一太の6名が一致団結して多忙な日々を過ごしております。

当時の緊急受診の患者さんも年々増えており、マンパワーが不足がちですが、安易に「今は対応できない」と確認だけする、ではなくて「どうすれば対応できるか」をまず考えるように心がけております。大学からは毎週月曜日に石田先生に手術応援に来ていただき、さらに中村先生に月金AMの外来、井上先生→玉腰先生には水曜日AMの外来を担当していただくようになり、多くの症例に対応できるようになりました。また、今年から高気圧酸素療法が導入され、突発性難聴の患者さんに対してステロイドと併用した入院治療を行っております。

専門医4名（うち指導医2名）と後期研修医2名の体制で教育にも力を入れております。各専門医はそれぞれ得意とする専門領域があり、できるだけ専従できるようにしております。さらに後期研修医はそれぞれの上級医から診断と手術を含めた治療、各疾患について教育を受けることができます。新しいことは積極的に取り入れて、疑問点はそのままにせずに相談して解決の糸口を見つける姿勢を大事にしながら、今年も学会発表、学会参加に力を入れて大小20回以上の発表をすることができました。

医師の働き方改革は医師の健康を守ることであることが一番の目的であることを心がけて日々頑張っておりますが、近隣の同門の先生方との連携を強めるための夜のカンファレンスも非常に大事にしておりますので、今後とも引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

聖隸浜松病院 耳鼻咽喉科 部長 岡村純

# 学会発表

発表日	学会名	筆頭演者	演題名
2024/1/20	第92回 静岡県西部耳鼻咽喉科医会講演会	石田航太郎	当科における高齢頭頸部癌患者の治療について
2024/2/1	第33回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	石田航太郎	Verrucous carcinoma6症例の検討
2024/2/17	第56回 SENT会	馬越優征	BiZact tonsillectomy 230例の検討 ~特に後出血症例について~
2024/3/7	第36回日本喉頭科学会総会ならびに学術講演会	石田航太郎	縫頸による喉頭粉碎骨折例
2024/4/7	第131回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	森泰樹	耳介軟骨を用いてhemitransfixion approachによる再手術を行なった鼻中隔弯曲症の1例 頭頸部手術の修練
2024/5/11	第37回静岡耳鼻咽喉科手術手技研究会	石田航太郎	～下学上達 On the job trainingを中心に～
2024/5/16	第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会	森福宏	BiZact による扁桃摘出術 243例の検討
2024/5/16	第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 総会・学術講演会	馬越優征	扁桃摘出術後出血に対する病理組織の面積比較による分析
2024/6/20	第48回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会	石田航太郎	Intraflap Vascular Catheterization 法でのモニタリングにより 腓骨皮弁うっ血を回避できたと考えられた2例
2024/6/20	第48回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会	岡村純	耳鼻咽喉科頭頸部外科領域における新世代針付縫合糸の使用経験
2024/6/28	第86回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	森福宏	胎児期に診断され出生後気道管理を要した巨大エプロンスの一例
2024/7/6	第132回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	千野帆夏	両側声帯麻痺に対する披裂軟骨切除術の経験
2024/7/11	第19回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	松下安理華	当科における小児誤嚥防止術の検討
2024/8/31	第19回静岡県乳幼児難聴研究会講演会	松下安理華	当院における精査現状について
2024/9/5	第37回日本口腔・咽頭科学会 総会ならびに学術講演会	馬越優征	BiZact™を使用した扁桃摘出術における術後出血症例の手技的検討
2024/9/5	第37回日本口腔・咽頭科学会 総会ならびに学術講演会	渡邊尚喜	下咽頭喉頭全摘術における両側内頸静脈同時切除時の対応
2024/9/12	LENVIMA 甲状腺癌 Meet The EXPERT	岡村純	甲状腺癌に対する薬物療法のこれから
2024/9/27	第63回 日本鼻科学会 総会・学術講演会	森泰樹	耳介軟骨を用いてhemitransfixion approachによる 再手術を行なった鼻中隔弯曲症の1例
2024/10/15	第75回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会	松下安理華	輪状軟骨切開術を施行した短頸を示す骨系統疾患の小児3症例
2024/10/19	第133回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	千野帆夏	耳下腺腫瘍切除後欠損に対する遊離真皮脂肪片移植の経験
2024/11/23	Hamamatsu Otorhinolaryngology Conference	馬越優征	扁桃摘出術後出血に対する病理組織の面積比較による分析

# 原著論文

原著論文（邦文）	題名	雑誌名	巻	号	Page
岡村 純	【扁桃手術の適応と新しい手技】パワーデバイスによる新しい扁桃手術 BiZact	ENTONI	N/A	295	45-54
井藤 雄次	頸部から眼窩内に至ったドアノブによる頸部杖創例	耳鼻咽喉科臨床	117	2	179-184
森泰樹	【ランドマークはこれだ! 局所解剖アトラス】副鼻腔 上顎洞手術のための局所解剖	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	96	5	88-95

# 講演

講演	題名	学会研究会名
岡村純	ご存じですか？頭頸部がん ～もっと知って欲しい！目で診る診断から最新の治療まで～	引佐郡医師会学術講演会